



大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3
電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

病院の再建について意見交換

先日、18名ほどの集まりで市立中央病院の運営危機についてはなし、再建についてご意見を伺いました。一部を紹介します。

○私は都留市立病院ですが、両手に杖をもって病院に入ると、手を取るようすぐに案内に来てくれる。診察もさることながら、みなさんから親切にしてもらい、多少遠くても、頑張っておおうと思えます。大月にはないことだと思います

○都内から大月に転院を希望して相談に訪れた時、連携室でひどい目にあったと悔し涙を流した人がいる。そんな病院がどれほどのものか。それでも、自分が健診で病院に行ってみると、みんな丁寧にしてくれる。ぜひ良くなってほしい

運営危機には驚きの声があがりましたが、市民から選ばれない理由が次々と出され正直驚きました。それは、患者のことを思ってくれる親身な病院へと生まれ変わってほしいという強いエールだと感じました。親身という点で、加納岩病院では毎朝開院時に院長があいさつにでていているということも話題になりました。患者への思いをどう行動に表すか、殿様商売と陰口を言われないような真剣な対応が求められていると感じました。

大月市立中央病院の運営危機

- ・外科常勤医退職により入院治療の対応に苦慮（4名→0名）
3月末に3名退職、1名非常勤に～4月から入院がみられなくなることもありうる局面
- ・医療収益減少による赤字補てん市の貯金にあたる財政調整基金（残高5億円）での対応が限界に～今年度も4～4.5億円の赤字補てんが必要だが、来年度は出したくても出せない事態



運営形態を変更し再建めざす

- 独立行政法人（非公務員型）
- ・独自の給与制度導入により、院長の人脈で3名が常勤医に好感触
- ・経営が安定したら、山梨大からも常勤医派遣の好感触
- ・非公務員となることで職員定数の制約がなくなり適正化。成果主義賃金でやる気をひきだすことも。
人件費比率 88.4%を見直し、経営健全化をめざす

【藤本みのる活動日誌】

2月 9日(金) 市長へ国保運営協議会答申書提出(会長職)
2月12日(月) 年金者組合食事会で市政報告(ゲスト)
2月13日(火) 東部広域連合議会研修会(小菅村)